



学校運営や教育活動についてご意見をいただきました ～水沢小学校教育活動に関するアンケート 結果及び分析、今後の方向性～

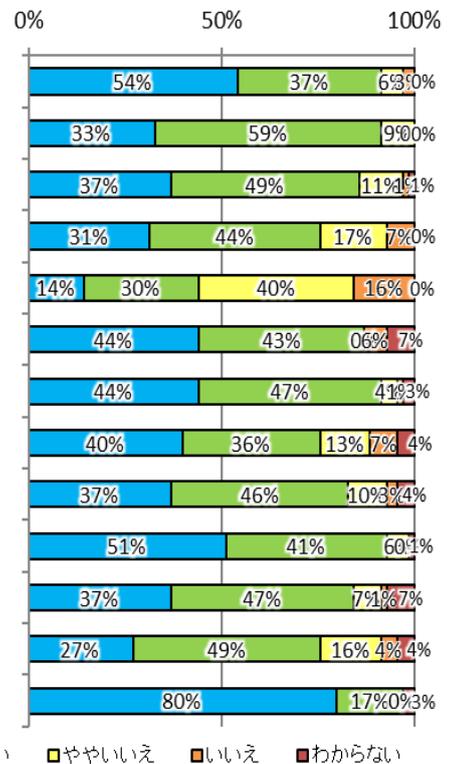
学校運営や教育活動について、本校の課題や方向性を明らかにし、改善したいと考え「水沢小学校教育活動に関するアンケート」を毎年実施しています。保護者の皆様にはお忙しい中、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

アンケートの結果と考察につきましては、本校の全教職員、さら推進委員で共有をさせていただきました。保護者の皆様からいただきました子どもたちの教育活動に対する思いや願い、ご意見を受け止め、今後もさらなる教育活動の改善に努めてまいります。

○令和7年度 保護者アンケート集計結果（対象：全保護者の皆様 実施時期：12月）

〈保護者の皆様〉

1. お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。
2. お子さんは、社会生活上必要なルール等を身につけていますか。
3. お子さんは、読み・書き・計算など、基礎基本の力を身につけていますか。
4. お子さんは、ご家庭で学校からの課題や自主学习に取り組んでいますか。
5. お子さんは、読書を楽しんでいますか。
6. お子さんは、健康で安全な学校生活を送っていますか。
7. お子さんは、学習や行事で生き生きと取り組んでいますか。
8. 担任や学校に対して相談したり意見を伝えたりしやすいですか。
9. お子さんは、自分の力を発揮して学習や様々な活動に参加していると思いますか。
10. 学校からの配布物や授業参観、ホームページなどで水沢小学校の取り組みがよくわかりますか。
11. 道徳の授業を中心として、命を大切にす心や人を思いやる気持ちを育てていると思いますか。
12. いじめや差別をなくす仲間づくりに取り組んでいることをお子さんの言動を通じて感じますか。
13. 少人数指導や複数の教員による指導(チームティーチング等)は今後も取り入れたほうが良いと思いますか。



【結果と考察及び方向性】

○「質問項目1、2、7、10、13」について、90%を超える肯定的な評価をいただきました。子どもたちの多くは、規範意識をもって日々の学校生活に取り組んでいるとともに、行事においては子ども一人ひとりの力を精一杯発揮しようとする姿が見られていることから、楽しい学校生活を送ることができている1つの要因と考えられます。また、学校からの情報発信によってさまざまな取り組みに対し、一定のご理解をいただけていることから、今後も継続して情報発信に努めてまいります。

○「3. 読み・書き・計算など、基礎基本の力を身に付けていますか。」については、各学年において、「音読に丁寧に取り組むこと」「授業で自分の意見や調べたことを文章でまとめたり、授業や行事の振り返りを文章で表現したりすること」「計算カードの答えや九九がすらすら言えること」など、全学年あるいは学年で、取り組みを進めているところです。「13. 少人数指導や複数の教員による指導」の項目とも関連し、子どもたちの基礎学力の定着については、引き続き、国語や算数の時間、朝の学習の時間などで取り組みを進めていきたいと思います。

○「4. 家庭で学校からの課題や自主学習に取り組んでいますか。」については、家庭学習について、気にかけていただいている保護者の皆様が見えることがうかがえます。学校では、基礎学力の定着とともに、1人では学ぶことができない活動を中心に取り組んでいます。家庭学習につきましては、保護者の皆様のご協力のもと、始める時間や取り組む時間（お子様の学年×10分を目安）を決めて課題に取り組むことを主眼においていただけたらと考えております。また、自主学習（自分の得意なことや苦手なことに+αで取り組むこと）を進めることで、学ぶ意欲の向上や学び方（例えばテスト勉強など）を身に付けることにつながります。引き続き、学校からの宿題を通して、子どもたち自身が自分で学ぶことができる力を伸ばしていくことができればと考えています。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

○「5. 読書を楽しんでいますか。」については、肯定的評価が最も低い値となりました。学校においては、図書室を利用した本の貸し出しや、交流室、学級文庫（PTAの皆様のご協力によるメリーゴーランドさんから購入した本）等、本を手にとって読むことができる環境を整えています。また、図書館司書さんや読書ボランティアの方々の読み聞かせなどの取り組みを通して、読書の楽しさを味わえるように進めているところです。しかしながら、タブレット端末やSNSなど子どもたちの興味関心の変化とともに、手に取って本を読む習慣が少なくなっているように思います。引き続き、学校での読書活動を推進するとともに、四日市市電子図書館の活用など、時代に合わせた読書の在り方についても啓発を進めていきたいと思っております。

○「8. 担任や学校に対して相談したり意見を伝えたりしやすいですか。」について、家庭訪問や個別懇談会などの学校行事として保護者の皆様にご協力をいただき、お話を聞かせていただく機会を設定するとともに、授業参観やお子様の送迎時、気になることがあった時など、対面やお電話にて対応させていただいているところです。やはり、保護者の皆様と担任とでお子様の自立に向けて、どう育てていくのかなど、方針や具体的な指導、支援の仕方について連携することは、子どもたちの力を伸ばすためにも、必須だと考えております。引き続き、お子様のことや学校運営等につきまして、ご相談やご意見がありましたら、ご連絡いただければ幸いです。また、定例の参観日や学校行事等で、ご来校いただける日の設定もいたしますが、ご都合に合わせて学校の様子を見にきていただくこともありがたく思います。よろしくお願いいたします。

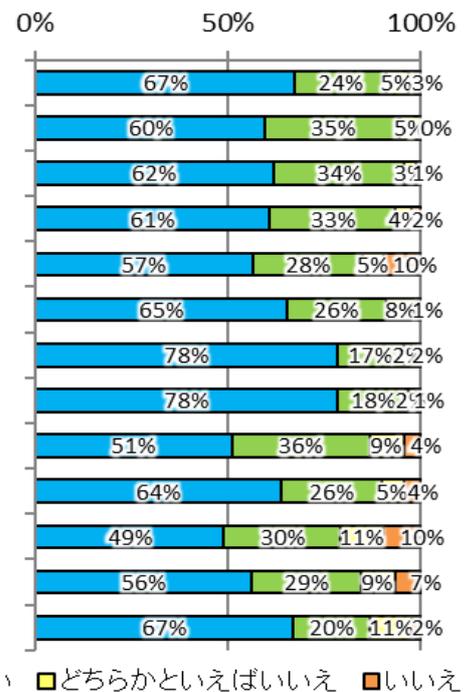
○「11. 道徳の授業を中心として、命を大切にする心や人を思いやる気持ちを育てていると思いませんか。」について、道徳の授業においては、教材にある場面に応じて、自分のことや仲間のこと、社会のことなどを考えようと自分の思いや考えをもつことができる子どもは多くなってきています。しかしながら「12. いじめや差別をなくす仲間づくりに取り組んでいることをお子様の言動から感じますか。」の結果から、行動に移すことができない（理解はしているけどできない、自分には関係ない、相手に言っても理解してもらえないなど）実態があるように思います。自分のことを大事にすることができる、自分のことが好きな子どもは、相手のことも大切にすることができます。学校では、授業など教育活動を通して、「いじめや差別は絶対に許さない」という立場に立ち、自分のことも仲間のことも大切にすることを日ごろから徹底していきたいと思っております。ご家庭においても、お子様のことを褒めたり認めたりしていただきながら、子どもたち自身が自分のことを大事にできるようご協力をお願いします。



○令和7年度 児童アンケート集計結果（対象：全児童 実施時期：12月）

〈児童〉

1. 楽しく学校生活を送っていますか。
2. 登下校のときや学校で積極的にあいさつをしていますか。
3. いつも学校や社会のきまりを守っていますか。
4. 係活動やそうじをていねいにしていますか。
5. 先生は、あなたのことをよく理解し、困った時は相談にのってくれますか。
6. 総合の学習では、地域の方々と一緒に楽しく活動できましたか。
7. あなたは、いじめや差別のない仲間づくりが大切だと思いますか。
8. 運動会・遠足・文化祭などのいろいろな行事に楽しく参加していますか。
9. 学校の授業はわかりやすいですか。
10. 漢字や計算など、学校で学んだことをきちんと身につけようと頑張っていますか。
11. 読書をすることは好きですか。
12. お家で宿題や自主学習をやっていますか。
13. 自分には、よいところがあり、自分のことを大切にしていますか。



【結果と考察及び方向性】

○ほとんどの項目で、90%を超える肯定的な回答となりました。中でも、「質問項目2、3、7、8」については割合が高いことから、あいさつや社会のきまりを守ろうとすること、いじめや差別を許さないことといった地域の方々や子どもたち同士の関わりを大切にしようという心情が育っていることが強みと言えます。また、いろいろな学校行事に積極的に参加しようとするを通して、「1. 楽しく学校生活を送っていますか。」の肯定的な評価につながっていると考えられます。

○「9. 学校の授業はわかりやすいですか。」については、「はい」と回答した児童が51%でした。授業は、学校教育活動の中心です。基礎・基本の定着や仲間との対話、思ったこと、考えたことなどの発表、調べたことをまとめる活動、地域学習などを通して、子どもたち自身が「わかった!」「できるようになった!」ことを積み重ね、「学ぶことが楽しい、学ぶことがおもしろい」と思える授業づくりが大切です。そのためにも、教育活動全般において、子どもたちが自己選択、自己決定できる環境をつくることで自信を持たせ、主体的に学ぶことができるよう授業づくりを進めていきたいと考えています。

○「11. 読書をすることは好きですか。」については、肯定的な回答が79%となりました。保護者の皆様からのアンケート結果と比較すると、子どもたち自身は本を読むことの楽しさを味わっているようです。さらに読書好きを育てるためにも、引き続き、本に触れる機会を設定するとともに、四日市市電子図書館も含め、読書をする習慣を身に付けていくことができるよう取り組みを進めたいと思います。

○「13. 自分には、よいところがあり、自分のことを大切にしていますか。」については、肯定的な回答の割合は高いですが、道徳や人権教育、日常の子どもたちへの声かけや評価、価値づけなどを通して、自己肯定感や自己有用感などを育む取り組みを進めていくことで、自分も仲間も大切にすることができるとの育成を図ってまいります。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本年度も残すところ、1か月になりました。この結果につきましては、全教職員と確認し、3学期の間に次年度に向けて改善できることから取り組みを進めているところです。先にも書きましたが、子どもたちの成長には、家庭と学校との連携は必須だと考えています。この結果をもとに、さらに水沢小学校の子どもたちのよりよい成長につながるよう全力で取り組んでまいります。今後とも、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(文責 岡本浩樹)